



研究テーマ

プラスチック生活用品のデザイン

目的・概要

2次加工(打抜き、曲げ、表面処理等)による、プラスチック成形品の新しい価値を創出する研究として、今回は小型スツールのデザインを行った。

参加学生にとっては、製造現場を知り、プラスチック成形加工法を学んだ上で、「企画→デザイン→設計→金型制作→成形→加工→仕上げ→展示会→評価」等の工程を体験するよい機会となった。学内の演習では得がたい、リアリティある製品開発の工程体験ができたことで、教育効果が期待できる。

金沢美術工芸大学として、県内の産業と連携した商品開発は、地域活性化につながることや、広報的にも話題となるなどのメリットが予想される。

期 間

2008年5月1日から2009年3月31日

委 託 者

石川樹脂工業株式会社

研究体制

プロジェクト型

担当教員

デザイン科 製品デザイン専攻 浅野 隆 教授

参加学生

大学院 デザイン専攻 製品デザインコース 1年 岩田永太郎、中村 雄

デザイン科 製品デザイン専攻 4年：伊藤健介、井上悠生、荻下直樹、折笠 弦、木下宏祐、堂本夏菜
中村恵美、奈須田友也、林 愛子、峰 友美、宮本真位

3年：庄田祐一、徳田淳也

PROCESS

- 2008.05.13. テーマ概要説明および工場見学
調査(関連商品の市場調査)
アイディアスケッチ
- 2008.06.23 1st プレゼンテーション
委託者により4案に選考されたものをブラッシュアップ、詳細検討
- 2008.07.31 2ndプレゼンテーション
最終選考1案の木型チェックから量産設計フォローまで
量産製品のカラーイメージサンプルの提示
- 2009.02.03 「第67回東京インターナショナルギフト・ショー春2009」にて量産プロトタイプ発表



概要説明・工場見学

加賀市にある工場を訪問し、石川社長からテーマの概要説明を受け、その後工場見学。金型工場からプラスチック成形工場、塗装、梱包まで原料が製品になるまでの全工程を見学した。



1st プレゼンテーション

メンバー15人、それぞれ2~3案のアイデアを提案。2回の学内ミーティングで20案を選定し、美大企画情報室にてプレゼンテーションを行った。

ブラッシュアップ& 2nd プレゼンテーション

委託者より4案に絞り込まれ、選考に残った案を提案した学生はそれぞれについてブラッシュアップを行った。数回の学内ミーティングで、素材、製造方法、大きさを検討。簡易モデル等を制作してスタイリング展開し、最終デザイン図面とともに4案を提示した。
(伊藤健介、荻下直樹、中村恵美)



プロトタイプ制作

4案の中から最終選考された1案について、木型チェック、金型図面チェックに数回出向き、量産に向けたデザイン検討を行った。その後ファースト試作の製品を何度か設計デザイン改修し、プロトタイプまでフォローした。(浅野、藤野で対応)

ギフトショー発表・視察

東京インターナル・ギフト・ショー(会場:東京ビッグサイト)にて量産プロトタイプを発表。デザインを担当した伊藤健介君、4案選考にまで残った荻下直樹君、中村恵美さんと視察した。本格的な量産発売は2009年春を予定している。

